

平成28年度 事業概要

# あゆみ

第66号 平成29年7月



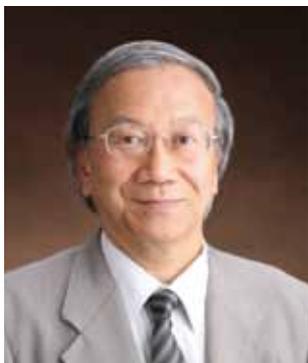
# 目次

---

所長あいさつ .....	2
平成28年度 新聞記事 .....	4
沿革 .....	6
組織体制 .....	14
献血の概況 .....	16
献血推進の概況 .....	18
骨髄ドナー登録事業 .....	21
検査・製剤の概況 .....	22
供給の概況 .....	24
医薬情報活動の概況 .....	25
統計資料 .....	26
平成28年度 表彰 .....	32
平成28年度迄の献血記録 .....	34

## 所長あいさつ

---



群馬県の血液事業の推進につきましては、日頃より県民の皆様の人道的な善意とご協力、また、これを支えてくださる協力団体やボランティア、県・市町村関係者の皆様、医療機関、関係各位のご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成28年度も皆様の温かいご指導とご支援を賜り、県内の医療機関からの輸血用血液製剤の要請に滞りなくお応えすることができました。血液事業は、平成24年4月から血液製剤の安全対策の充実、安定供給、事業運営の効率化、健全な経営基盤の確立を目的に都道府県の枠を超えたブロック単位の広域事業運営体制に移行しており、各センターが協働し目標達成に向け努めております。

平成28年度の輸血用血液製剤の供給状況は、200mL献血由来を1単位とした換算数では、308,472単位で前年度より7,783単位の減少（前年度比2.5%減）となりました。

現在、医療機関からは、400mL献血由来の血液の発注が圧倒的に多くなっております。輸血を受ける患者さんの負担軽減や副作用発生リスクの低減が主な理由です。日本は本格的な少子高齢社会を迎えており、この影響から輸血用血液製剤等を必要とする方が増え、若年層の献血者数は減少傾向にあります。献血者の確保は年々厳しい状況になっております。

そこで平成28年度も平成27年度に引き続き400mL献血率の向上を目的に北関東3県（茨城・栃木・群馬）の所長が協働し、北関東高校献血打合せ会を設置及び開催（年3回）、所長及び担当者（部長・課長・係長・担当主事）の意見交換を活発に行い400mL献血者確保を中心とした高校献血の実施や若年層献血者、複数回献血者の推進広報活動及び献血環境の見直しを実施しました。献血者数は、86,662人と前年度より5,693人の増加（前年度比6.6%増）となり、400mL献血率は95.1%（平成27年度92.9%）を達成することができました。1稼働効率の向上については、平成29年1月には関東甲信越ブロック圏内で1位（47.4人

---

/稼働)を達成することができました。

その他の当センターの献血者確保対策として、献血年齢に達していない、小・中学生を対象にした「親子献血教室」や「献血セミナー」、体験学習として3歳から15歳までを対象とした「キッズ献血」の実施など、楽しみながら献血の重要性を理解してもらえるイベントを開催しました。このようなイベントでは未来の献血者育成だけでなく、親御様から献血協力をいただき献血への理解と協力の輪を広げております。

血液事業を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、様々な活動を通して、献血者の善意の血液を必要とする患者さんにお届けできるよう努めております。他県センターとの情報交換を積極的に行い、柔軟な発想で事業運営基盤を充実させ、平成29年度においては若者への献血啓発と献血協賛企業のさらなる確保および献血環境の改善等による複数回献血者の確保を柱にした献血者の確保により、更に1稼働効率の向上を目指したいと考えております。

併せて、医療機関への血液製剤の供給の取り組みといたしまして、医療機関からの要望に適切に対応できるよう、安全な輸血用血液製剤の安定供給と医療機関へ情報提供等を行い適正使用の推進を図ってまいります。

今後も職員一同、なお一層の取り組みを進め、より安全な輸血用血液製剤の安定供給に向け、引き続き努力してまいりますので、皆様方におかれましても、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここに平成28年度の実績をとりまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

平成29年4月  
群馬県赤十字血液センター  
所長 林 泰 秀



### 200人が献血に協力 前橋で県生命保険協会



血液の不足しがちな冬季に合わせ、県生命保険協会（橋本篤史会 社員約300人）が献血（長）は7日、前橋市長（町）の明治安田生命群馬に協力した。同協会は社会貢献活動

献血に協力する社員

活動の一環として、献血活動を推進している。明治安田生命保険相互会社群馬支社の三沢信司支社長は「恒例行事として認知度が高まっている。より規模を大きくしていきたい」と意欲的だった。

採血した血液には有効成分があり長期保存ができない。体調不良者が増加する冬場は協力が減少するとい

い、県赤十字血液センターは積極的に献血を呼び掛けている。

上毛新聞 平成28年12月8日(木)

### 献血協力を若者に訴え

高崎

献血に関心をもちつつも、高崎市の献血センターは、冬の献血者が少ないことから企画した。参加者は「若い人の献血が減少している」と懸念を述べた。

若者の献血者が減少傾向にあることや、冬の献血センターは、冬の献血者が少ないことから企画した。参加者は「若い人の献血が減少している」と懸念を述べた。

献血の協力を訴えるボランティア

「army」(津久井駅周辺で音楽活動)は、同日周辺で音楽活動を行い、ボランティアが協力して呼び掛けた。

津久井駅周辺で音楽活動を行い、ボランティアが協力して呼び掛けた。

献血の協力を訴えるボランティア

「army」(津久井駅周辺で音楽活動)は、同日周辺で音楽活動を行い、ボランティアが協力して呼び掛けた。

上毛新聞 平成29年1月23日(月)

### 「はたちの献血」 パナ2選手PR

伊勢崎でキャンペーン

ラグビートップリーグ所属し、ルーキーながら活躍している森谷選手と長谷川選手が、献血に協力する姿をPRした。

伊勢崎で献血キャンペーン

ラグビートップリーグ所属し、ルーキーながら活躍している森谷選手と長谷川選手が、献血に協力する姿をPRした。

献血に協力を呼び掛けた森谷選手(左)と長谷川選手

手が15日、伊勢崎市西大会を通じて来場者と交流した。森谷選手は「大学の構内で献血をしたことがある。を中心に献血に協力してもらおうと、毎年この時期に開催している」と呼び掛けた。

森谷選手は「大学の構内で献血をしたことがある。を中心に献血に協力してもらおうと、毎年この時期に開催している」と呼び掛けた。

上毛新聞 平成29年1月16日(月)

### 「献血 分かったよ」 子どもが疑似体験

高崎

県赤十字血液センター(林泰秀所長)は20日、高崎市のイオンモール高崎で「キッズ献血」を開催し、子どもたちが疑似体験した。

子どもたちが疑似体験した。

献血を疑似体験する子ども

と、血管を導くための血管帯を右腕に巻いてもう一方の手は「大学の構内で献血をしたことがある。を中心に献血に協力してもらおうと、毎年この時期に開催している」と呼び掛けた。

高崎中川小4年の猪内真樹君(10)は「父がよく献血をしているので、何をしているのかが分かった。自分も大人になったらやりたい」と笑顔で話した。

キッズ献血は百年前の血液提供が昨年からはじめた。

上毛新聞 平成29年3月21日(火)

# 沿革

## ●1962年（昭和37年）

- 8.15 県、市町村の援助により血液銀行を新築[建設面積 209.51㎡]
- 9. 1 初代所長 久保園善次郎就任（兼前橋赤十字病院院長）
- 10.20 血液銀行採血業許可証認可となる（厚生省群策第9472号）  
医薬品製造業認可証認可となる（第8356号）  
医薬品販売業認可証承認となる（第43号）  
群馬県赤十字血液銀行の業務開始  
移動採血車第1号（2ベット）を整備  
愛称を県民より募集し「(おおとね号)」と決まる  
ABO式血液型（オモテ・ウラ）Rho 式血液型  
梅毒血清学的検査（ガラス板法・緒方法）  
O型力価測定（Low、High）実施



## ●1964年（昭和39年）

- 8.21 閣議決定（献血の推進について）
- 9. 肝機能検査（S-GOT）開始

## ●1965年（昭和40年）

- 2.13 血液銀行を血液センターに改称
- 8.13 移動採血車おおとね2号（3ベット）を整備
- 8.16 第2代所長 吉野文郁就任

## ●1966年（昭和41年）

- 3.31 事務室、保存室、検査室を増築（全建設面積 381.08㎡）となる

## ●1967年（昭和42年）

- 2.24 血液運搬車車庫を新築（45.37㎡）

## ●1968年（昭和43年）

- 3.26 移動採血車おおとね3号（2ベット）を整備（採血車3台となる）
- 9. 4 移動採血車第1号を廃車（37年整備）（採血車2台となる）

## ●1969年（昭和44年）

- 3. O型力価測定廃止

## ●1970年（昭和45年）

- 1.24 開設以来延べ献血者10万人達成
- 9. 不規則抗体スクリーニング検査開始

## ●1971年（昭和46年）

- 4. 1 血液代金差額について国庫補助を受ける（昭61.3.31廃止）
- 4.15 群馬県交通安全保障協会より血液運搬車1台寄贈
- 7. 1 HBs抗原検査開始（SRID法）開始
- 9. 4 移動採血車車庫を新築（108㎡）

## ●1972年（昭和47年）

- 1. 1 免疫電気泳動法（IES法）にてHBs抗原・抗体検査を開始
- 3.23 移動採血車おおとね1号（3ベット）を整備（採血車3台となる）

## ●1973年（昭和48年）

- 6.21 赤十字アルブミン20販売開始
- 11.20 移動採血車おおとね2号（4ベット）を更新（40年整備）

## ●1974年（昭和49年）

- 4. 1 血液代金自己負担金給付制度開始（昭61.4月廃止）
- 9.24 成分製剤11品目の許可を受ける

## ●1975年（昭和50年）

- 1.15 はたちの献血キャンペーンはじまる

- 8.19 移動採血車おとおね3号（4ベット）を更新（43年整備）
10. 梅毒検査緒方法よりRPR法に変更
- 1976年（昭和51年）
10. 2 成分製剤2品目追加許可を受ける
- 11.27 トヨタ・カローラ群馬、カローラ高崎より献血運搬車1台寄贈
- 1977年（昭和52年）
6. 7 上毛新聞社「愛の募金」より献血運搬車1台寄贈
12. 1 物置を新築28.32㎡
- 1978年（昭和53年）
3. 4 開設以来延べ献血者数50万人達成
10. 1 HBs抗原検査IES法よりR-PHA法に変更
- 1979年（昭和54年）
11. 1 採血容器を瓶からバッグに全面変更する
- 11.26 移動採血車おとおね5号（5ベット）を整備（採血車4台となる）
- 1980年（昭和55年）
- 3.26 検査サービス室、製剤準備室を増設（本館全建物面積 417.14㎡）
7. 肝機能検査S-GOTよりS-GPTに変更
10. 1 献血登録制を始める
- 1981年（昭和56年）
5. 7 生化学的検査機器ACA6008Nを導入
6. 2 抗HBs人免疫グロブリン「日赤」の販売開始
9. 1 生化学的検査結果の異常者への通知を開始  
肝機能異常者でHBs抗原陽性者へ通知を開始
- 12.18 日本石油より献血運搬車 日産 セドリック（ミスターセイフテーター号）1台寄贈
- 1982年（昭和57年）
4. 1 献血手帳の一部改正となる（供給記録欄を削除）
- 生化学的検査結果全員通知を開始
- 8.27 移動採血車おとおね1号（4ベット）を更新（47年整備）
9. 1 HBs抗原検査結果陽性者に通知を開始
- 1983年（昭和58年）
8. 9 開設以来延べ献血者100万人達成
- 1984年（昭和59年）
3. 8 血液製剤1品目（分画プラズマ）の製造許可を受ける
4. 5 赤十字アルブミン50供給販売開始
- 7.24 移動採血車おとおね3号（4ベット）を更新（50年整備）
- 12.20 県、市町村の補助を受け血液センターを新築移転（建物面積2,660.07㎡、車庫480㎡、物置7.2㎡）
- 12.24 医薬品製造業許可第8581号を受け業務開始  
血液センター採血業許可証 厚生省収薬第34214号  
成分製剤2品目の追加製造承認を受ける
- 
- 1985年（昭和60年）
- 3.28 HBワクチン用製剤2品目追加製造許可を受ける
- 7.30 移動採血車おとおね6号（4ベット）を整備（採血車5台となる）
- 3.31 国庫金による血液代金給付制度廃止
- 1986年（昭和61年）
4. 1 採血及び供血幹旋業取締法施行規則の一部

# 沿革

改正（400mL・成分献血が導入）

第3代所長 藤井佐司就任

群馬県献血推進員2名設置

- 7. 生化学自動分析装置 機種変更  
（ACA6008NよりACA8000へ）
- 9.12 移動採血車おとおね2号（4ベット）を更新（48年整備）
- 9.16 多目的血球計数装置E-4000整備
- 10. 1 HTLV-I抗体検査開始（PA法）
- 10.16 HIV抗体検査開始（ELISA法）
- 11. 6 成分採血装置V50整備し成分採血を開始
- 12.18 血液検査（血算）サービス開始
- 12.23 移動採血車おとおね7号（4ベット）を整備（採血車6台となる）

## ●1987年（昭和62年）

- 7.31 開設以来延べ献血者150万人達成
- 10. HIV抗体検査 ELISA法よりPA法に変更
- 10. 7 プラズマコレクターシステム整備

## ●1988年（昭和63年）

- 1.21 自動血液型判定機（グルバマチック2000システム整備）
- 5. 1 献血者自己申告制度（HIV）開始
- 9.28 大相撲大鵬親方より献血運搬車 トヨタ コロナ（大鵬号）1台寄贈

## ●1989年（平成元年）

- 1. 8 移動採血車おとおね5号（5ベット）を更新（54年整備）
- 2.10 神戸義二氏より献血運搬車カローラ（神戸号）1台寄贈
- 3.15 成分採血装置CS3000整備
- 3.31 登録・パーソナルコンピュータ（NEC 5200）整備
- 12.27 HCV抗体検査（ELISA法）、HBc抗体（HI法）開始

## ●1990年（平成2年）

- 3. 6 成分採血装置オートフェレーシスC整備
- 5.21 オープン献血実施
- 6.25 バクスター社より器材運搬車 トヨタ ハ

イエース1台寄贈

- 10. 8 移動採血車（おとおね6号）成分採血併用型に改造し採血車で成分採血を開始
- 12. 1 コンピュータトータルシステム（NEC）整備
- 12.20 オープン採血用成分採血機材運搬車（コースタービッグバン）整備

## ●1991年（平成3年）

- 3.11 成分採血装置NDP整備
- 4. 1 凝固因子製剤用原料血漿確保始まる（50万L）
- 9.16 4週6休制施行実施.
- 9.30 開設以来延べ献血者数200万人達成
- 12.25 群馬県骨髄データセンター業務開始

## ●1992年（平成4年）

- 1.21 赤血球M・A・P（日赤）製造許可を受ける
- 1.31 HCV抗体検査ELISA法からPHA法に変更
- 3. 1 国内自給に向け凝固因子製剤の供給販売開始（クロスエイトM250、500、1000）
- 6. HCV陽性者通知開始（通知基準による）
- 12. 3 赤血球M・A・P（日赤）製造開始
- 12.19 移動採血車おとおね1号（4ベット）を更新（57年整備）

## ●1993年（平成5年）

- 2. 1 新登録者カード発行
- 4. 1 群馬県輸血懇話会設立
- 5. 1 成分採血装置ヘモネティクスMCS整備
- 10. 1 高崎出張所を設置（高崎熱血倶楽部）イーストタワービル1階に開設
- 10.15 移動採血車おとおね7号（4ベット）を廃車（採血車5台となる）

## ●1994年（平成6年）

- 2.27 群馬県献血フェスティバル開催（伊勢崎市民文化会館）
- 3.28 4週8休制度施行実施
- 5.18 血液X線放射線照射装置（MRB-1520A-TV）整備し依頼による照射血液供給を開始
- 7. 生化学自動分析装置 機種変更

(ACA8000より日立7250へ)

- 9. 1 コンピュータ全国統一センターシステム (NEC) 整備  
成分採血装置ミニオートフェレーシスC整備
- 11. 7 移動採血車おとね3号(4ベット)を更新(59年整備)

## ●1995年(平成7年)

- 6. 1 自動感染症検査機器PK7200を整備

## ●1996年(平成8年)

- 3.28 検診車の整備
- 4. 1 第4代所長に松山四郎就任  
第3代所長藤井佐司名誉所長に就任
- 6.15 国際ソロプチミスト前橋より血液運搬車  
スバル インプレッサ1台寄贈
- 9. 1 献血者全員の試験官方式による検体保管開始
- 9. 3 採血番号ラベルシート(IDカード)10桁に変更
- 9.26 開設以来延べ献血者数250万人達成
- 10 出庫可否判定における検査履歴照合開始
- 11.30 お年玉付郵便葉書寄付金より血液運搬車  
三菱 レグナム1台寄贈

## ●1997年(平成9年)

- 1.30 移動採血車(お年玉付郵便葉書寄付金)おとね6号(4ベット)を更新(60年整備)
- 3.13 移動採血車おとね2号(4ベット)を更新(61年整備)
- 4. 1 医務課長設置により組織並びに処務規定の一部改正(2部1データセンター9課1出張所17係)改組
- 9. ヒトパルボウイルスB19抗原検査の評価試験開始
- 10. 1 職員定数100名となる
- 12.28 血液X線照射装置(MBR-1520A-TM)を追加整備(2機となる)

## ●1998年(平成10年)

- 2. 1 梅毒検査RPR法よりTPPA法に変更
- 3.19 オープン献血会場で血小板採血を開始

- 4. 1 週休2日制実施  
職員定数105名となる
- 7. 1 放射線照射血液が承認され薬価により供給開始(全血, 赤血球M・A・P, 濃厚血小板)
- 9. 1 前橋出張所(前橋ハートランド)大同生命前橋ビル1階に開設
- 12.21 放射線照射血液が追加承認され供給開始(洗浄赤血球・白血球除去赤血球・解凍赤血球・合成血)

## ●1999年(平成11年)

- 1.26 沖電気工業より保冷库付血液運搬車寄贈  
日産 AD マックスバン保冷库付
- 2. 1 原料用血漿について当日以外の服薬者よりPPPのみの採血始める
- 2.26 移動採血車おとね7号(4ベット)を整備(採血車6台となる)
- 3. 5 前橋中央ライオンズクラブより魚八景ジュニア1台寄贈
- 4. 1 採血基準の改正により献血年齢69歳まで引き上げとなる
- 5.12 統一システム全国献血者一元管理に移行となる
- 6. 2 群馬県赤十字有功会より東芝液晶データプロジェクター1台寄贈(創立20周年記念)
- 9. 1 核酸増幅検査(NAT)開始

## ●2000年(平成12年)

- 1. 1 HTLV-1抗体検査陽性者に通知開始
- 2. 1 核酸増幅検査 500本プールより50本プール検査に変更
- 2.29 県の助成を受け血液センター1階部分を全面改修(供給部門に血液製品用保存室、製剤部門に二次更衣室等新設)、一部増築
- 3.17 ヒトパルボウイルスB-19抗原検査正式導入となる
- 5.16 NAT済み血小板供給を開始
- 7.26 群馬県学生献血推進連合による献血キャラバン隊を編成し県内11市長に献血推進メッセージを届ける(28日まで)
- 8.28 血液センター増築及び改修工事開始
- 10. 3 検診車整備 日野 リエッセII

# 沿革

11.26 高崎出張所開設以来延べ献血者10万人達成

## ●2001年（平成13年）

- 2. 移動採血車おとおね9号（4ベット）整備（採血車7台となる）
- 3.30 県の補助を受け増築及び改修工事竣工（1,746.58㎡を増築し、総延べ床面積4,406.65㎡）となる
- 4. 1 第5代所長に大月邦夫就任
- 5.22 HCV抗体検査、リエントリー開始
- 7. 3 血液センター増改築竣工記念式典
- 8. 6 赤十字アルブミン25販売開始
- 12.28 開設以来延べ献血者数300万人達成

## ●2002年（平成14年）

- 2.15 国際ソロプチミスト前橋より血液運搬車 日産 ウィングロード1台寄贈
- 4. 1 太田出張所「太田YOU愛」を東毛学習文化センター前に設立  
HCV抗体陽性血液の核酸増幅検査の開始により、HCV抗体検査陽性者希望者全員に通知を開始
- 4.10 太田出張所「太田YOU愛」東毛学習文化センター前に開設業務開始
- 7. 5 DONOR CARD集発行
- 7.31 薬事法及び採血及び供血あっせん業取締法の一部を改正され名称も「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に変更され公布される  
移動採血車おとおね5号（5ベット）を廃車（採血車6台となる）
- 12.31 移動採血車おとおね1号（4ベット）を廃車（採血車5台となる）

## ●2003年（平成15年）

- 4. 1 HBc抗体陽性血液の核酸増幅検査の開始によりHBc抗体検査陽性者全員に通知を開始
- 6. 1 ホームページ開設  
高崎出張所改修及び増設工事竣工(81.33㎡を増設し総延べ床面積283.37㎡)となる
- 6.13 献血者の献血歴の確認 遡及調査の実施

(梅毒・HBV・HCV及びHIV)

10. 1 高崎出張所（高崎熱血倶楽部）10周年記念式典

12.12 高崎出張所開設以来延べ献血者15万人達成



## ●2004年（平成16年）

- 1.30 2ヶ月間（60日）貯留保管済み新鮮凍結血漿供給開始
- 3.31 供給冷凍室（貯留保管用）増築工事竣工（46.15㎡を増築し、総延べ床面積4,452.8㎡）となる
- 6.20 第二次血液事業統一システム導入
- 8.15 献血後情報の対応手順の変更（平16.7.30付厚生労働省「輸血用血液等遡及調査に関するガイドライン」に基づき）
- 8.28 核酸増幅検査50本プール検査より20本プール検査に変更
- 8.31 90日間貯留保管済みFFPの供給開始
- 10. 1 献血者本人確認全国実施
- 12.28 120日間貯留保管済みFFPの供給開始

## ●2005年（平成17年）

- 3.31 150日間貯留保管済みFFPの供給開始
- 4. 1 第6代所長に土田嘉昭就任  
群馬県献血メールクラブの開始
- 7.29 6ヶ月間（180日）貯留保管済み新鮮凍結血漿供給開始
- 11. 1 第7代所長に遠藤敬一就任

## ●2006年（平成18年）

- 3. 1 成分採血由来製剤の保存前白血球除去の実施
- 7.13 群馬県立県民健康科学大学のオープン献血会場を皇太子殿下がご視察  
第42回献血運動推進全国大会開催（群馬県総合スポーツセンター）  
サンデン株式会社より血液運搬車 日産エクストレイル1台寄贈  
富士重工業株式会社群馬製作所より血液運搬車 スバル フォレスター1台寄贈  
群馬県病院協会、(社)群馬県医師会、(社)群馬県歯科医師会、(社)群馬県薬剤師会、(社)群馬県看護協会より器材運搬車 いすゞ エルフ1台寄贈
- 8.28 日赤ポリグロビンN注5% 2.5g/50mLの販売開始
- 9.15 日赤ポリグロビンN注5% 0.5g/10mL、日赤ポリグロビンN注5% 5.0g/100mLの販売開始
- 9.23 保存前白血球除去された成分採血由来新鮮凍結血漿製剤の供給開始
- 10. 1 献血カードの導入  
検査業務が埼玉県赤十字血液センターへ集約
- 10.26 血小板成分採血における保存前白血球除去及び初流血除去の実施



## ●2007年（平成19年）

- 1.16 全血採血由来赤血球製剤の保存前白血球除去及び初流血除去の実施

- 3. 3 国際ソロプチミスト前橋より血液運搬車 スバル インプレッサ1台寄贈
- 8. 1 保存前白血球除去された全血採血由来新鮮凍結血漿製剤の販売開始
- 11.14 有効期間「採血後4日間」に変更となった血小板製剤の供給開始

## ●2008年（平成20年）

- 2. 8 血清学的検査を凝集法から化学発光酵素免疫法（CLEIA法）へ変更（同年8月全国で導入）
- 7.21 輸血用血液製剤の新バーコード表示による製造開始
- 7.23 初流血除去を実施した成分採血由来新鮮凍結血漿の供給開始
- 8. 新NATシステムへ切り替え（HIV-1グループ0及びHIV-2の検出も可能）

## ●2009年（平成21年）

- 1.29 前橋出張所改装工事竣工
- 2.11 前橋出張所「前橋ハートランド」10周年記念イベント開催（於 ユナイテッド・シネマ前橋）
- 3.10 移動採血車おとね3号（4ベット）を整備
- 3.15 糖尿病関連検査（グリコアルブミン検査）の開始
- 4. 1 第8代所長に小泉武宣就任  
高崎出張所（高崎熱血倶楽部）の定休日が第4月曜日に変更
- 4.23 移動採血車おとね2号（4ベット）を廃車（採血車5台となる）
- 11.23 第1回献血感謝デー開催（於 イオンモール高崎）
- 12.28 血漿分画製剤の販売名の変更に伴い、日赤ポリグロビンN5%静注5g/100mLの販売開始。他の血漿分画製剤についても新販売名の製剤を順次販売開始

## ●2010年（平成22年）

- 1.27 1980年から1996年の英国滞在歴の献血制限が「1日以上」（1泊以上）から「通

# 沿革

- 算1ヶ月以上)(31日以上)に緩和
- 2. 5 血小板製剤及び成分採血由来血漿製剤の販売名の変更に伴い、(照射)濃厚血小板-LR「日赤」と(照射)濃厚血小板HLA-LR「日赤」の供給開始。成分採血由来血漿製剤については6ヶ月間(180日間)貯留保管後、順次供給開始
- 2.13 高崎城ライオンズクラブより医療用デジタル体重計1台寄贈
- 5.31 血液センター2階間仕切り改修工事竣工
- 11.23 第2回献血感謝デー開催(於 イオンモール高崎)
- 12.14 高崎出張所高崎熱血倶楽部採血業務を廃止
- 12.15 高崎出張所高崎駅献血ルームHarmony(JR高崎駅東口3階イーサイト内)業務開始
- 12.28 血球計数検査サービス(8項目)を200mL全血献血へ拡充開始



高崎駅献血ルームHarmony

## ●2011年(平成23年)

- 2.15 (財)日本宝くじ協会助成事業「移動採血車の整備事業」による移動採血車(4ベット)を整備(採血車6台となる)
- 3. 7 移動採血車おとおね7号(4ベット)を廃車(採血車5台となる)
- 4. 9 東日本大震災対策支援要員として職員を派遣(計5回)
- 7.27 赤十字アルブミン5%静注12.5g/250mLの販売開始
- 8.16 群馬県より[平成23年度献血・骨髄ドナー登録推進業務(緊急雇用創出事業)]委託

を受託(9.1実施)

- 11.23 第3回献血感謝デー開催(於 イオンモール高崎)

## ●2012年(平成24年)

- 4. 1 広域事業運営体制の開始(1部 1データセンター 6課3出張所 19係)改組
- 8. 6 献血血液の検査基準の変更  
輸血後のB型肝炎対策として「HBc抗体(C.O.I.)1.0以上12.0未満かつHBs抗体価200mIU/mL未満」の献血者に対する献血制限の実施
- 10. 1 シャーガス病に係る安全対策開始
- 11.23 第4回献血感謝デー開催(於 イオンモール高崎)



## ●2013年(平成25年)

- 1.16 「献血の同意説明書」の導入
- 1.26 日赤ポリグロビンN10%静注5g/50mL、日赤ポリグロビンN10%静注10g/100mLの販売開始
- 2. 4 太田出張所改修工事に伴う採血業の休止
- 2.26 血液センターの1階製造部門に係る部分の改修工事開始
- 3. 8 災害救護機材配備(タブレット型PC端末5式)
- 3.25 災害救護資材配備(雨衣・防寒着)
- 3.27 災害救護資材配備(非常食)
- 3.31 血液センターの1階製造部門に係る部分の改修工事完了
- 5. 2 太田出張所太田献血ルーム業務開始
- 9. 3 成分採血由来の新鮮凍結血漿の容量を

450mLから480mLに変更。3つの製剤規格容量を整数倍へ  
(120mL、240mL、480mL)

11.24 第5回献血感謝デー開催（於 イオンモール高崎）



太田献血ルーム

## ●2014年（平成26年）

- 1.28 災害救護機材配備（ノート型PC端末2台、デジタルカメラ1式）
- 3.27 災害救護資材配備（非常食）
- 4. 1 第9代所長に林 泰秀就任
- 5.11 血液事業情報システム稼働（供給部門）
- 6.25 血液事業情報システム稼働（全部門）
- 8. 1 個別NAT検査開始
- 9.29 関東甲信越ブロックでの血小板製剤分割開始
- 10. 1 検査サービス通知書（ハガキ）新様式開始
- 11.24 第6回献血感謝デー開催（於 イオンモール高崎）

## ●2015年（平成27年）

- 2.23 前橋出張所改修工事に伴う採血業の休止
- 2.26 災害救護資材配備（発電機1台）
- 2.28 前橋出張所前橋献血ルーム業務開始
- 3.10 災害救護資材配備（スノーダンプ5台、スコップ10本、ストーブ3台）
- 3.25 災害救護資材配備（非常食）
- 3.31 血漿分画製剤の全製剤販売終了
- 7. 8 北関東高校献血打合せ会開催
- 11.22 第7回献血感謝デー開催（於 けやきウォーク前橋）



前橋献血ルーム

## ●2016年（平成28年）

- 2. 2（財）日本宝くじ協会助成事業「移動採血車の整備事業」による移動採血車（4ベット）を整備
- 2.19 災害救護資材配備（ADバン）
- 3.20 献血模擬体験「キッズ献血」を実施（於 イオンモール高崎）
- 3.30 移動採血車おとね9号を廃車
- 4. 1 ALT検査による製品除外基準の変更
- 9.13 照射洗浄血小板-LR「日赤」及び照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始
- 11.23 第8回献血感謝デー開催（於 けやきウォーク前橋）
- 12.16 災害救護資機材配備（スチールラック）

## ●2017年（平成29年）

- 2.27 血小板採血調整システム稼働
- 3.20 献血模擬体験「キッズ献血」を実施（於 イオンモール高崎）

# 組織体制

## 群馬県赤十字血液センター



- 所在地 〒379-2154  
群馬県前橋市天川大島町  
2-31-13
- 開設年月日 昭和59年12月20日
- 敷地面積 3,835.73 ㎡
- 建物の構造 本館棟／鉄筋コンクリート造  
地下1階 地上2階  
(塔屋付)  
別館棟／鉄骨造 地上3階  
(塔屋付)
- 延床面積 4,452.8㎡

### 高崎駅献血ルームHarmony

- 受付時間 全血献血／10:00～13:00  
14:00～17:30  
成分献血／10:00～12:30  
14:00～17:00
- 休業日 年末年始
- 床面積 325.58㎡
- ベット数 11ベット  
(全ベット液晶テレビ付)
- 採血装置 成分・全血採血装置



〒370-0849 群馬県高崎市八島町222 JR高崎駅東口3階 イーサイト内  
TEL027-327-8139 FAX027-327-8143



### 前橋献血ルーム

- 受付時間 全血献血／10:00～13:00  
14:00～17:30  
成分献血／10:00～12:30  
14:00～17:00
- 休業日 年末年始
- 床面積 310.19㎡
- ベット数 10ベット  
(全ベット液晶テレビ付)
- 採血装置 成分・全血採血装置



〒371-0805 群馬県前橋市南町3-9-5 (大同生命ビル1F)  
TEL027-220-5522 FAX027-220-5523

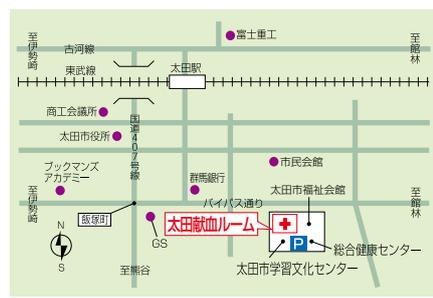


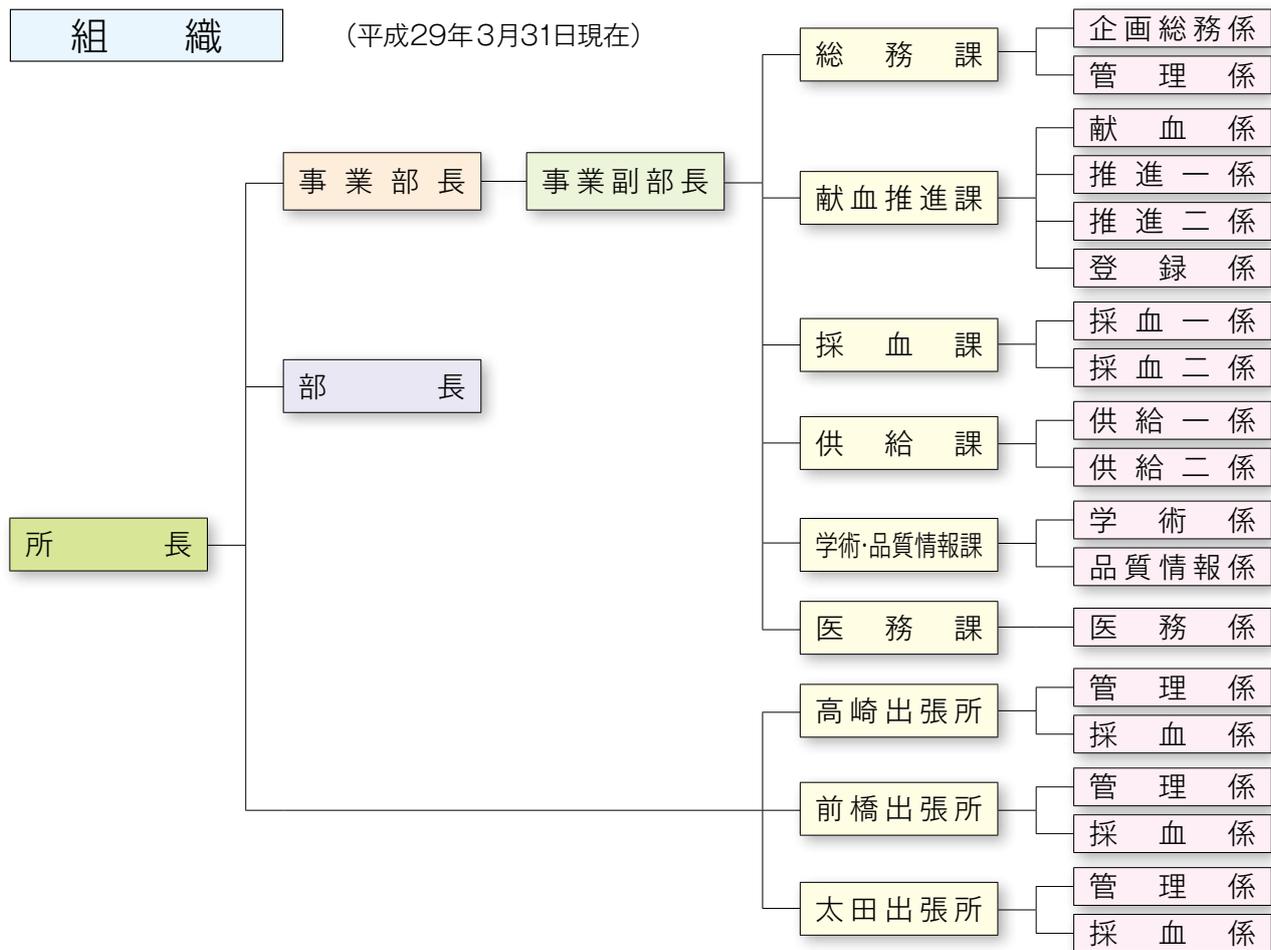
### 太田献血ルーム

- 受付時間 全血献血／10:00～13:00  
14:00～17:30  
成分献血／10:00～12:30  
14:00～17:00
- 休業日 年末年始
- 床面積 396㎡
- ベット数 10ベット  
(全ベット液晶テレビ付)
- 採血装置 成分・全血採血装置



〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549-2 (太田市学習文化センター前)  
TEL0276-60-3300 FAX0276-49-3300

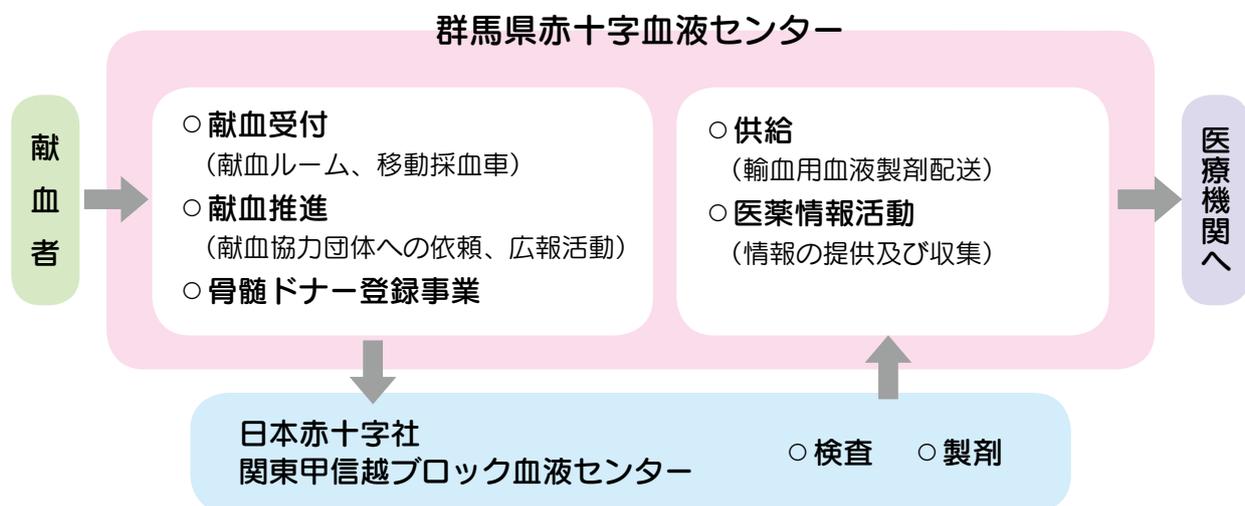




**職 員** (平成29年3月31日現在)

医 師	薬 剤 師	検査技師	看 護 師	准 看 護 師	事務職員	合 計
1	3	1	29	2	58	94

## 群馬県赤十字血液センターの業務の流れ



# 献血の概況

平成28年度、県民の皆様のご理解とご協力をいただき、県内で延べ86,662名の献血協力をいただきました。おかげさまで県内の各医療機関へ輸血用血液製剤を滞りなく供給することが出来ました。また、血漿分画製剤用血漿の国内需給に向けその確保に努めることが出来ました。

献血者数については、受付者数 97,356名（前年度比104.8%）、献血者数 86,662名（前年度比107.0%）となり、いずれも昨年度実績を上回りました。

献血種類別の内訳は全血献血者数 58,175名（前年度比99.5%）、成分献血者数 28,487名（前年度比126.5%）となっております。

詳細をみてみますと、全血献血者数のうち400mL献血者数は 55,312名（前年度比101.9%）、200mL献血者数は 2,863名（前年度比68.6%）となりました。200mL献血を1単位として換算すると 113,487単位（前年比100.7%）の確保をすることができました。このため医療機関の需要に応えることができました。また、全血献血中の400mL献血構成比は95.1%（前年比2.2%増）となったため、こちらも400mL由来製剤の需要（95%）に応えることが出来ました。

成分献血者数のうち血小板成分献血者数は 10,479名（前年度比74.5%）でした。昨年度実績比で減少していますが、これは血小板成分献血の採血後の分割が可能になったことによるものであり、需要には充足しております。血漿成分献血者数は 18,008名（前年度比213.0%）でした。

献血推進対策としては「新規献血会場の開拓」、「複数回献血の推進」、「献血協賛企業におけるサポーター制度推進」及び「将来の献血を担う若年層への啓発」に努めました。更に、県内のスポーツ団体との協力体制を構築し、キャンペーン活動やEメール、SNSを活用する等の対策を講じて広く県民の皆様へ啓発を行うことができました。

今後も引き続き輸血用血液製剤の「更なる安全性の向上」及び「安定的な確保」を最重要課題として取り組んでまいります。

## 1 献血ルーム

### ■高崎出張所：愛称「高崎駅献血ルーム Harmony」

「高崎駅献血ルーム Harmony」は、交通やショッピングに便利なJR高崎駅東口ローサイト内に平成22年12月15日に開設しました。駅構内という好立地にあり、内装は「音楽のある街高崎」をイメージしたものとなっております。また、多くのボランティア団体に協力をいただいております、日々多くの献血者の方で賑わっております。

363日開設：受付者数 19,735名

献血者数 18,159名（1日平均献血者数50.0名、施設別構成比20.9%）

献血種類別では全血献血者数が8,192名（構成比45.1%）、内400mL献血者8,191名（400mL献血率100%）成分献血者数が9,967名（構成比54.9%）

### ■前橋出張所：愛称「前橋献血ルーム」

「前橋献血ルーム」は、県内2番目の献血ルームとして、JR前橋駅南口の大同生命ビル1階に、平成10年9月1日に開設いたしました。また平成27年2月28日にロビーを陽だまりのような空間をイメージにリニューアルいたしました。皆様のご支援ご協力と高等学校インターアクトクラブをはじめ多くのボランティアの方々に支えられております。

363日開設：受付者数 16,501名

献血者数 15,132名（1日平均献血者数は41.7名、施設別構成比17.5%）

献血種類別では全血献血者が5,756名（構成比38.0%）内400mL5,696名（400mL献血率99.0%）成分献血者9,376名（構成比62.0%）

### ■太田出張所：愛称「太田献血ルーム」

「太田献血ルーム」は太田市飯塚町の東毛学習文化センター（現太田市学習文化センター）前に、全国的にも珍

しい単独平屋建ての県内では1番の広さを誇る献血ルームとして、平成14年4月10日に開設いたしました。平成25年5月2日には、広々としたロビーのカジュアルなオープンスペースのカフェスタイルにリニューアルオープンしました。また、環境に配慮した街づくりを目指す太田市に習い、ソーラーシステムを導入したエコな献血ルームです。

363日開設：受付者数 17,100名

献血者数 15,735名(1日平均献血者数43.3名、施設別構成比18.2%)

献血種類別では全血献血者が6,594名(構成比41.9%)、内400mL献血者6,564名

(400mL献血率99.5%)成分献血者が9,141名(構成比58.1%)

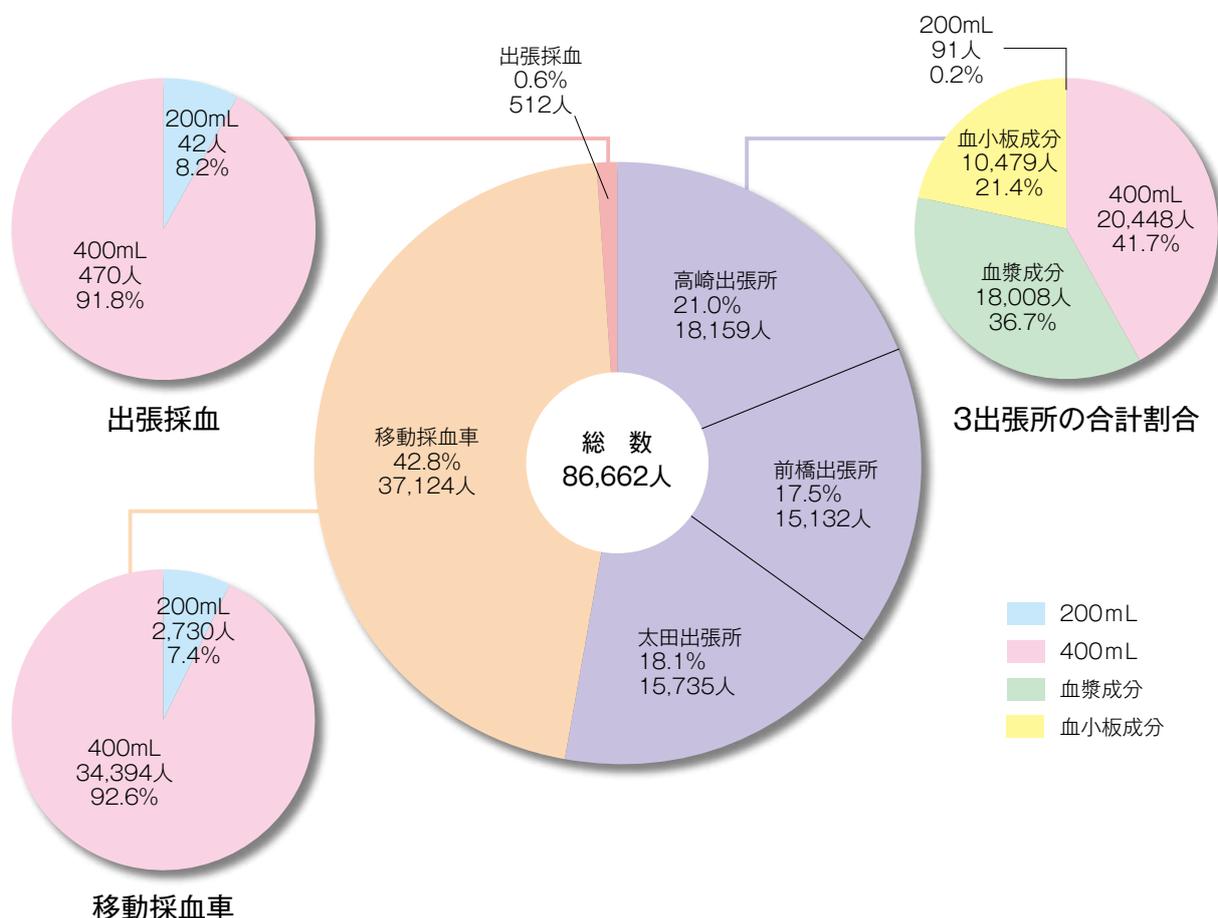
## 2 移動採血車

全血献血者の受入れを主として4台の移動採血バスで運用をしています。延べ880台が県内の各献血会場で献血者の受入れを行いました。受付者数は43,388名、献血者数は37,124名(1台平均42.2名)でした。前年度献血者数と比較すると112名の増加でした。なお、全血献血に占める400mL献血構成比は92.6%で前年度比2.7%の増加となりました。

## 3 出張献血

移動採血バスの配車が困難な場所において会議室等を献血会場にして実施する出張献血を、10会場で行いました。受付者数は632名、献血者数は512名でした。

### 平成28年度 施設別の献血状況



# 献血推進の概況

## 広報・キャンペーン活動

### 1. スポーツ団体とのコラボ事業

#### (1) ガスバクサツ群馬

ア 献血推進ポスター作成

イ 献血応援スペシャルマッチ

期日 平成28年4月16日（土）

会場 正田醤油スタジアム群馬

内容 献血（献血協力者へコラボグッズ処遇）、献血PR（試合前所長挨拶、横断幕・競技場電光掲示板によるPRなど）

協力 群馬県学生献血推進連合、群馬県青年赤十字奉仕団、日本赤十字社群馬県支部



#### (2) パナソニックワイルドナイツ

ア 献血推進ポスター作成

イ パナソニックワイルドナイツ試合会場献血

期日 平成28年12月4日（日）

会場 太田市総合運動公園陸上競技場前

内容 献血協力者へワイルドナイツグッズを処遇、場内アナウンスによる献血の啓発



### 2. 第7回夏休み親子献血教室

期日 平成28年7月28日（木）・7月29日（金）

会場 群馬県赤十字血液センター前橋出張所・太田出張所・関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所

内容 献血から輸血用製剤が出来るまでの基礎知識の学習、献血ルームの見学（献血模擬体験）、埼玉製造所の見学（製造部門、検査部門）

後援 群馬県教育委員会・株式会社エフエム群馬・群馬テレビ株式会社・上毛新聞社

協力 群馬県・前橋市・太田市・日本赤十字社群馬県支部



### 3. 第8回献血感謝デー

期日 平成28年11月23日（水・祝）

会場 けやきウォーク前橋

内容 献血功労者表彰式、献血実施、救急法講習、災害救援物資等展示、献血クイズ、骨髄バンクドナー登録会、ライブ、声優トークショー、サーカス学校パフォーマンス、キャラクター写真撮影会など

後援 株式会社エフエム群馬・群馬テレビ株式会社・上毛新聞社

協力 群馬県・日本赤十字社群馬県支部・群馬県学生献血推進連合・群馬県青年赤十字奉仕団



#### 4. 全国学生クリスマス献血キャンペーン

期日・会場 平成28年12月 3日(土) 高崎駅献血ルーム  
12月 4日(日) スマーク伊勢崎  
12月11日(日) けやきウォーク前橋  
12月18日(日) イオンモール高崎

内容 学生ボランティアによる献血の呼びかけ及び献血協力者へオリジナルグッズを処遇

12/18は学生ボランティア所属大学のサークルによるクリスマスコンサートを開催。

主催 群馬県学生献血推進連合・群馬県青年赤十字奉仕団



#### 5. はたちの献血キャンペーン

期間 平成29年1月1日(日)～平成29年2月28日(火)

(1) 「はたちの献血」イベント

期日 平成29年1月15日(日)

会場 スマーク伊勢崎

内容 献血実施、パナソニックワイルドナイツ選手による血液センター1日所長及び広報(森谷圭介選手、長谷川峻太選手)、群馬県青年赤十字奉仕団によるバルーンアート作製・配布、大道芸パフォーマンス、キャラクター写真撮影会、献血クイズ、学生ボランティアによる献血広報・献血啓発資材(使い捨てカイロ等)の配布

主催 群馬県

協力 パナソニックワイルドナイツ・日本赤十字社群馬県支部・群馬県学生献血推進連合・群馬県青年赤十字奉仕団・県立太田フレックス高等学校・共愛学園高等学校・県立伊勢崎商業高等学校・伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校



#### 6. キッズ献血

期日 平成29年3月20日(月・祝)

会場 イオンモール高崎

内容 献血模擬体験

参加者に記念品を進呈・キッズ献血カードの発行(専門店の特典あり)

後援 群馬県・群馬県教育委員会・NHK前橋放送局・株式会社エフエム群馬・群馬テレビ株式会社・上毛新聞社

協力 日本赤十字社群馬県支部・群馬県学生献血推進連合・群馬県青年赤十字奉仕団・高崎健康福祉大学高崎高等学校JRC部

特別協賛 イオンモール高崎



#### 7. 広報誌 Y e I I (エール)

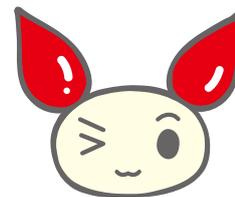
年3回発行

## 献血メールクラブ（複数回献血クラブ）

「献血メールクラブ」では、登録をいただいた会員の方々へ適宜メールを配信し、献血の要請などを行っております。血液の不足時や、医療機関から緊急要請があった場合にも、即時に情報発信ができるため、救命のネットワークとしてその重要性は、年々高まっております。その他、県内の献血会場、キャンペーンやイベント情報などのお知らせを行うなど、献血者と血液センターを繋ぐツールとして活用しています。

平成28年度は、会員の方全員へのお知らせメールは23回の配信と、依頼・要請メールは延べ207,449名の方への配信をし8,378名（応諾率4.0%）の方にご協力をいただいております。

「献血メールクラブ」会員の特典として、献血後の検査成績が閲覧できるサービスなどを実施しております。今後は継続的に会員数増加に努めるとともに、サービス内容を充実させ、会員にとって利便性の高い情報ツールにして参ります。



**献血メールクラブ会員数 20,328人**（平成29年3月31日現在）

## 献血サポーター

献血サポーターとは、医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血や献血推進活動に積極的に協力いただける企業・団体のことです。献血サポーターとなった企業・団体には、「献血サポーター・ロゴマーク」を日常の企業活動等において活用いただいています。

国民の医療を支える献血のさらなる推進を図っていただき、また、社会貢献活動である献血活動を国民に広くPRする機会として「献血サポーター」へのご参加をお願いしています。

※このロゴマークは企業・団体が行う「献血活動」を応援するため、厚生労働省が製作したものです。

※このマークの使用にあたっては、「献血サポーター」活動への参加が必要となります。



献血サポーター

# 骨髄ドナー登録事業

日本赤十字社と骨髄ドナー登録事業（造血幹細胞事業）の関わりは、平成3年度に国からの依頼を受け、骨髄データバンク登録事業者として中央骨髄データセンター及び各地域骨髄データセンターを設置し、骨髄バンクドナー登録希望者を受け入れることから始まりました。

新たな動きとして日本赤十字社は、平成25年10月1日に国から「造血幹細胞提供支援機関」の指定を受けました。（関連法「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」平成26年1月1日施行）

支援機関の主な業務として、献血現場における骨髄ドナー登録推進活動が挙げられます。群馬県赤十字血液センターは、群馬県及び群馬県骨髄バンク推進連絡協議会と協同して、県内の骨髄バンクドナー登録を推進しております。

平成28年度、群馬県内の骨髄ドナー登録者数は539名でした。その内、献血バスと併行した骨髄ドナー登録会（献血併行型登録会）では、367名の登録をいただいております。

## 平成28年度 骨髄ドナー登録受付状況

単位：人

受付場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
高崎駅献血ルーム Harmony	2	6	6	4	8	4	7	9	5	4	5	10	70
前橋献血ルーム	5	6	9	10	2	0	5	5	4	7	3	5	61
太田献血ルーム	1	1	3	6	3	3	5	4	3	0	8	3	40
献血併行型登録会	25	25	46	29	28	28	41	19	27	49	18	32	367
合計	33	38	64	49	41	35	58	37	39	60	34	50	538

## 平成28年度 骨髄ドナー登録取消状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
取消者数	21	18	14	17	19	17	14	23	23	13	21	19	219

取消の主な要因は、「年齢超過」や「調整結果」などによるものです。

## 骨髄ドナー登録状況

群馬県内 〔全国〕

総登録者数：7,088人 〔696,041人〕

実登録者数：4,916人 〔470,270人〕

登録取消者数：2,172人 〔225,771人〕

平成29年3月31日現在

## 群馬県内の骨髄ドナー登録受付窓口（固定施設）

- |                   |   |                    |
|-------------------|---|--------------------|
| ○前橋献血ルーム          | } | 〔受付時間〕 10：00～12：00 |
| ○高崎駅献血ルーム Harmony |   | 14：00～17：00        |
| ○太田献血ルーム          | } | 〔休業日〕 年末年始         |
|                   |   |                    |

# 検査・製剤の概況

群馬県で献血していただいた血液は、関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所へ運ばれ、血液型や感染症などの検査を行い輸血用血液製剤として製造されます。

その後、製造された輸血用血液製剤は群馬県赤十字血液センターに届けられ供給課で保管しています。

## 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所の業務



- 開設年月日 平成24年2月14日
- 所在地 〒355-0071  
埼玉県東松山市大字新郷493-1
- 敷地面積 9,787.08 m<sup>2</sup>
- 建物の構造 鉄骨造地上3階建
- 延床面積 11,947.31 m<sup>2</sup>

関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所は、関東信越6県（群馬県、埼玉県、栃木県、新潟県、長野県、茨城県）で献血していただいた血液の検査及び製造業務を行う施設です。

### ●検査

輸血による副作用や感染症予防のために血液型検査、感染症関連検査、献血者にお知らせする生化学検査、血球計数検査などを行います。

#### 検査項目

- ・血液型検査：  
A B O血液型検査、Rh血液型検査、不規則抗体検査
- ・感染症関連検査：  
梅毒血清学的検査、B型肝炎ウイルス検査(HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体)、C型肝炎ウイルス検査(HCV抗体)、エイズウイルス検査(HIV-1、2抗体)、HTLV-1抗体検査、ヒトパルボウイルスB19検査
- ・生化学検査：  
ALT、γ-GTP、総蛋白(TP)、アルブミン(ALB)、アルブミン対グロブリン比(A/G比)、コレステロール(CHOL)、グリコアルブミン(GA)
- ・血球計数検査：  
赤血球数(RBC)、ヘモグロビン濃度(Hb)、ヘマトクリット値(Ht)、平均赤血球容積(MCV)、平均赤血球ヘモグロビン量(MCH)、平均赤血球ヘモグロビン濃度(MCHC)、白血球数(WBC)、血小板数(PLT)
- ・核酸増幅検査：  
B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査、エイズウイルス検査

このほか、必要に応じてHLA関連検査(HLA抗原検査・HLA抗体検査・血小板抗体検査)、まれな血液型検査、サイトメガロウイルス抗体検査等を行って、患者さんに適合した輸血用血液製剤を供給しています。



検査作業



検査機器

## ●製 剤

現在の輸血医療は必要な成分を輸血するために成分ごとに輸血用血液製剤として調製されます。また、輸血による副作用を予防するために保存前に白血球の大部分を取り除き、血漿製剤以外には、放射線を照射しています。

このように安全性の高い血液製剤の製造を行っています。



血液成分の分離作業



放射線照射作業



フィルトレーション作業（白血球除去）

## ●品質管理

輸血用血液製剤及び血漿分画製剤用原料血漿の安全性、品質及び均質性の確保を図るために、受入試験にて原料・資材・試薬の品質確認を実施しています。また、製品抜取試験（製品試験、無菌試験、凝固試験）、白血球数試験を実施し、各製剤の品質の確認を実施しています。

さらに、「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理規則（GMP省令）」に規定されている要件を遵守して、各部門の作業が適正に行われているかを管理しています。



クリーンベンチ（無菌試験用）



無菌試験（培地）

# 供給の概況

群馬県赤十字血液センターでは12台の献血運搬車を配備しています。24時間365日体制で、県内すべての医療機関からの注文に対し、必要な輸血用血液製剤を供給しています。また、要請に応じて緊急輸送も行っています。献血由来の血漿分画製剤は、平成27年3月末日を以って販売中止となりました。

平成28年度の総供給数は83,254本で、前年度に対しては3,234本減少（前年度比96.3%）しました。供給単位数では308,472単位で、前年度に対しては7,783単位減少（前年度比97.5%）しました。

## 1. 血小板製剤

供給単位数は157,396単位で、前年度に対して3,219単位減少（前年度比98.0%）でした。血小板減少症を伴う疾患や大量出血時などに使用され、今日の輸血医療においては欠かすことのできない血液製剤であり、総供給数に占める血小板製剤の構成比は51.0%と最も高くなっています。全国的な需要傾向（全国平均前年比99.8%）に対して、当県においては前年度より若干減少しました。

平成28年9月13日から、照射洗浄血小板-LR「日赤」及び照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給を開始しました。

## 2. 血漿製剤

供給単位数<sup>※</sup>は45,186単位で、前年度に対して1,697単位減少（前年度比96.4%）でした。全国的な需要傾向（全国平均前年比98.7%）に対して、当県においては前年度より若干減少しました。

<sup>※</sup>200mL献血由来製剤を1.5単位、400mL献血由来製剤を3単位、成分献血由来製剤を5単位として換算

## 3. 赤血球製剤

供給単位数<sup>※</sup>は105,890単位で、前年度に対して2,867単位減少（前年度比97.4%）でした。全国的な需要傾向（全国平均前年比99.3%）に対して、当県においては前年度より若干減少しました。

<sup>※</sup>200mL献血由来製剤を1単位、400mL献血由来製剤を2単位として換算

## 4. 全血製剤

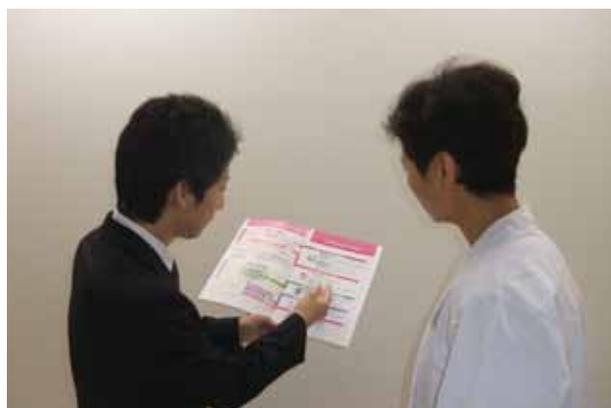
今年度は供給がありませんでした。



## 医薬情報活動の概況

医療機関に供給された血液製剤は、必要な情報（品質・有効性・安全性等）が付加されてはじめて適正に使用されます。その情報を「医療関係者に提供し、使用された際の情報を収集し、適切に分析・評価された結果を医療関係者へフィードバックする」これら一連の役割を担っているのが医薬情報担当者（MR：Medical Representative）で、学術・品質情報課 学術係がその業務を行っています。なかでも、輸血に伴う副作用・感染症自発報告症例を医療関係者から情報収集し分析・評価することは、血液製剤の安全対策にも反映される重要な業務と位置づけられています。また、血液製剤の取り扱いに関する問い合わせの対応や医療関係者への勉強会を実施することで、有限で貴重な血液製剤を適正に使用して頂くよう活動しています。

適正かつ安全な輸血療法を目指すため、平成18年には県内医療機関、行政、血液センターが三位一体となった「群馬県合同輸血療法委員会」が設置され、事務局として年1回の合同会議や講演会などを開催しています。平成28年度は輸血過誤をテーマに活動し、「第11回群馬県合同輸血療法委員会」では、県内医療機関を対象としたアンケート調査の結果報告や医療機関から輸血過誤の事例について、その概要や発生原因、対策について報告して頂きました。また、安全な輸血療法を推進するため、「学術講演会」では防衛医科大学校病院の豊島麻実先生をお招きして看護師による輸血過誤防止への取り組みについて講演会を開催しました。



医療関係者への情報提供



医療機関での勉強会

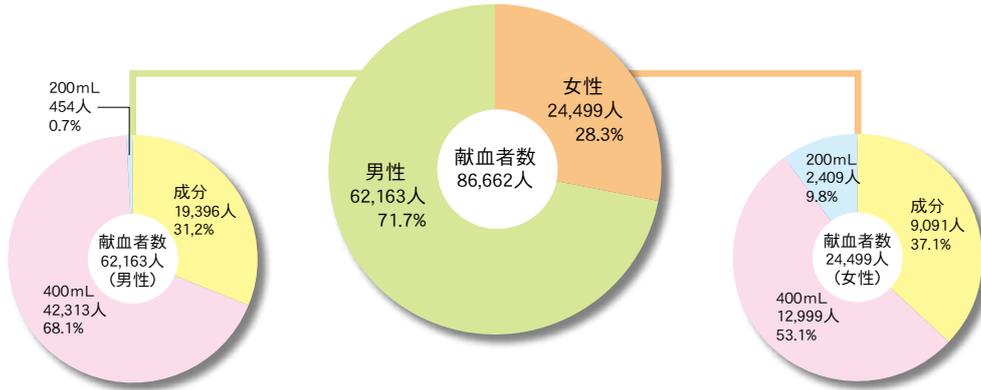


群馬県合同輸血療法委員会

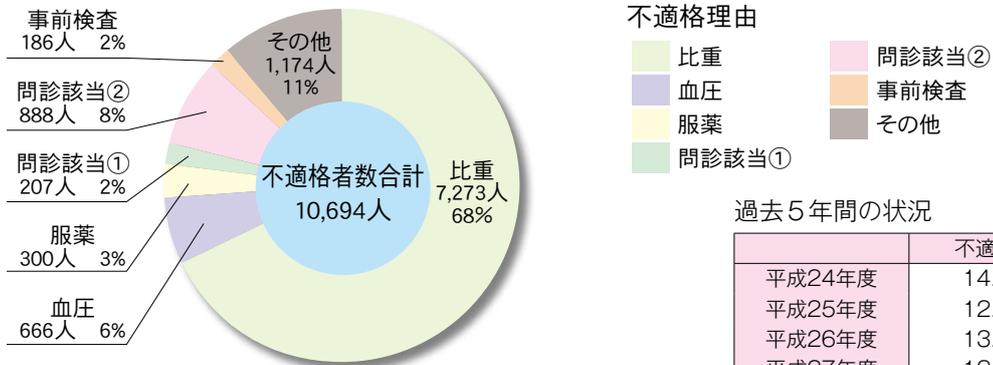
# 統計資料

## 平成28年度 献血状況

年月	項目	献血ルーム		採血車		出張		計			
		受付人数	採血人数	受付人数	採血人数	受付人数	採血人数	受付人数	採血人数	男	女
平成28年度計		53,336	49,026	43,388	37,124	632	512	97,356	86,662	62,163	24,499
			28,487		0		0		28,487	19,396	9,091
			20,448		34,394		470		55,312	42,313	12,999
			91		2,730		42		2,863	454	2,409



## 献血出来なかった人の状況



過去5年間の状況

年度	不適合率
平成24年度	14.4%
平成25年度	12.8%
平成26年度	13.2%
平成27年度	12.9%
平成28年度	11.0%

- 比 重 … 血液比重又は色素量が採血基準を満たさない場合
- 血 圧 … 血圧が採血基準を満たさない場合
- 服 薬 … 注射・服薬の状態が問診の基準を満たさない場合
- 問診該当① … B型C型肝炎ウイルス保有者、輸血歴・臓器移植歴のある人、C型肝炎の既往、慢性B型肝炎、原因不明の肝炎の既往、乾癬の治療にチガソン服用、梅毒の既往、マラリアの既往、クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）の関連事項、HIVの関連事項、シャーガス病・アフリカトリパノソーマ症、リーシュマニア症の既往、バベシア症、vCJDに関連した欧州滞在歴
- 問診該当② … 問診該当①以外に問診上不適合な理由がある場合（体調不良、海外帰国後4週間以内等）
- 事 前 検 査 … 血算・心電図・検尿等で不合格の場合
- そ の 他 … 献血者の意思変更、時間無し、血管が細いなどの理由で不合格の場合

### 献血不適合者の状況

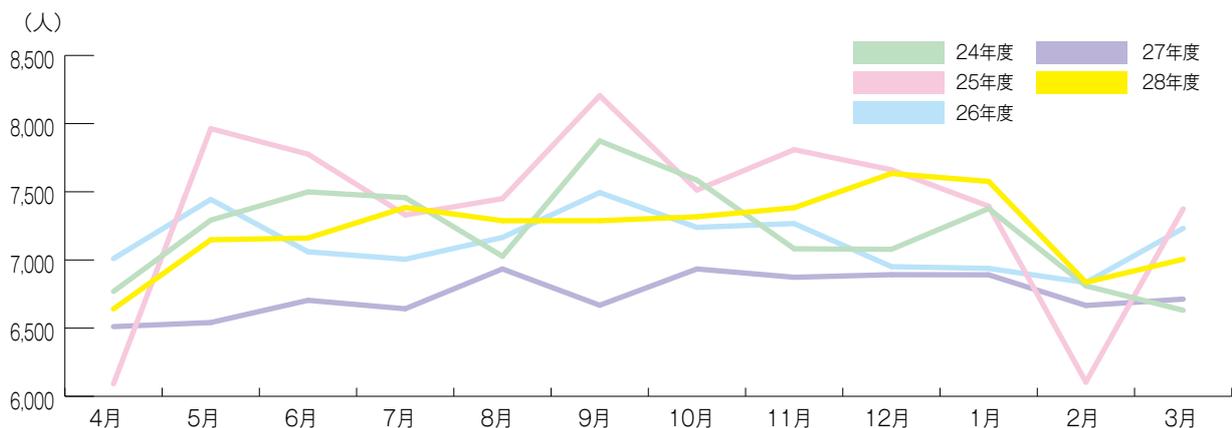
不適合理由	比 重	血 圧	服 薬	問診該当①	問診該当②	事前検査	その他	合 計
男	1,306	494	221	131	508	129	493	3,282
女	5,967	172	79	76	380	57	681	7,412
合 計	7,273	666	300	207	888	186	1,174	10,694

# 平成28年度 市町村別献血者数

	人口 (A)	受付者数	全血献血者数			成分献血者数			総献血者数 (B)	献血率 (B)/(A)
			200mL	400mL	計	血小板成分	血漿成分	計		
合計	1,962,839	97,356	2,863	55,312	58,175	10,479	18,008	28,487	86,662	4.4%
前橋ルーム		16,501	60	5,696	5,756	3,378	5,998	9,376	15,132	
高崎ルーム		19,735	1	8,191	8,192	3,430	6,537	9,967	18,159	
太田ルーム		17,100	30	6,561	6,591	3,671	5,473	9,144	15,735	
管内 合計		44,020	2,772	34,864	37,636	0	0	0	37,636	
前橋市	335,321	8,376	484	6,612	7,096	0	0	0	7,096	2.1%
前橋市保健所管内 計	335,321	8,376	484	6,612	7,096	0	0	0	7,096	2.1%
高崎市	370,427	8,327	441	6,671	7,112	0	0	0	7,112	1.9%
高崎市保健所管内 計	370,427	8,327	441	6,671	7,112	0	0	0	7,112	1.9%
渋川市	77,166	1,425	174	1,063	1,237	0	0	0	1,237	1.6%
榛東村	14,315	275	7	234	241	0	0	0	241	1.7%
吉岡町	21,456	766	19	648	667	0	0	0	667	3.1%
保健福祉事務所管内 計	112,937	2,466	200	1,945	2,145	0	0	0	2,145	1.9%
伊勢崎市	209,338	7,270	150	5,960	6,110	0	0	0	6,110	2.9%
玉村町	36,546	508	34	392	426	0	0	0	426	1.2%
保健福祉事務所管内 計	245,884	7,778	184	6,352	6,536	0	0	0	6,536	2.7%
安中市	57,495	875	52	734	786	0	0	0	786	1.4%
保健福祉事務所管内 計	57,495	875	52	734	786	0	0	0	786	1.4%
藤岡市	65,020	1,544	92	1,210	1,302	0	0	0	1,302	2.0%
上野村	1,199	21	0	21	21	0	0	0	21	1.8%
神流町	1,844	58	6	44	50	0	0	0	50	2.7%
保健福祉事務所管内 計	68,063	1,623	98	1,275	1,373	0	0	0	1,373	2.0%
富岡市	48,998	1,071	77	827	904	0	0	0	904	1.8%
下仁田町	7,220	101	14	66	80	0	0	0	80	1.1%
南牧村	1,868	18	0	18	18	0	0	0	18	1.0%
甘楽町	13,044	74	10	55	65	0	0	0	65	0.5%
保健福祉事務所管内 計	71,130	1,264	101	966	1,067	0	0	0	1,067	1.5%
中之条町	16,399	246	14	202	216	0	0	0	216	1.3%
長野原町	5,393	132	23	93	116	0	0	0	116	2.2%
嬬恋村	9,431	145	17	112	129	0	0	0	129	1.4%
草津町	6,449	77	7	61	68	0	0	0	68	1.1%
高山村	3,590	30	0	30	30	0	0	0	30	0.8%
東吾妻町	13,584	513	57	413	470	0	0	0	470	3.5%
保健福祉事務所管内 計	54,846	1,143	118	911	1,029	0	0	0	1,029	1.9%
沼田市	47,787	1,139	132	830	962	0	0	0	962	2.0%
片品村	4,245	69	10	50	60	0	0	0	60	1.4%
川場村	3,602	124	10	97	107	0	0	0	107	3.0%
昭和村	7,171	109	6	83	89	0	0	0	89	1.2%
みなかみ町	18,795	356	32	282	314	0	0	0	314	1.7%
保健福祉事務所管内 計	81,600	1,797	190	1,342	1,532	0	0	0	1,532	1.9%
太田市	220,834	3,979	259	3,159	3,418	0	0	0	3,418	1.5%
保健福祉事務所管内 計	220,834	3,979	259	3,159	3,418	0	0	0	3,418	1.5%
桐生市	112,621	2,520	349	1,853	2,202	0	0	0	2,202	2.0%
みどり市	50,680	612	35	477	512	0	0	0	512	1.0%
保健福祉事務所管内 計	163,301	3,132	384	2,330	2,714	0	0	0	2,714	1.7%
館林市	75,898	1,265	127	939	1,066	0	0	0	1,066	1.4%
板倉町	14,747	261	22	201	223	0	0	0	223	1.5%
明和町	11,122	280	24	226	250	0	0	0	250	2.2%
千代田町	11,231	347	8	282	290	0	0	0	290	2.6%
大泉町	41,694	836	70	693	763	0	0	0	763	1.8%
邑楽町	26,309	271	10	226	236	0	0	0	236	0.9%
保健福祉事務所管内 計	181,001	3,260	261	2,567	2,828	0	0	0	2,828	1.6%

人口データ：群馬県企画部統計課作成「移動人口調査」平成29年3月1日現在

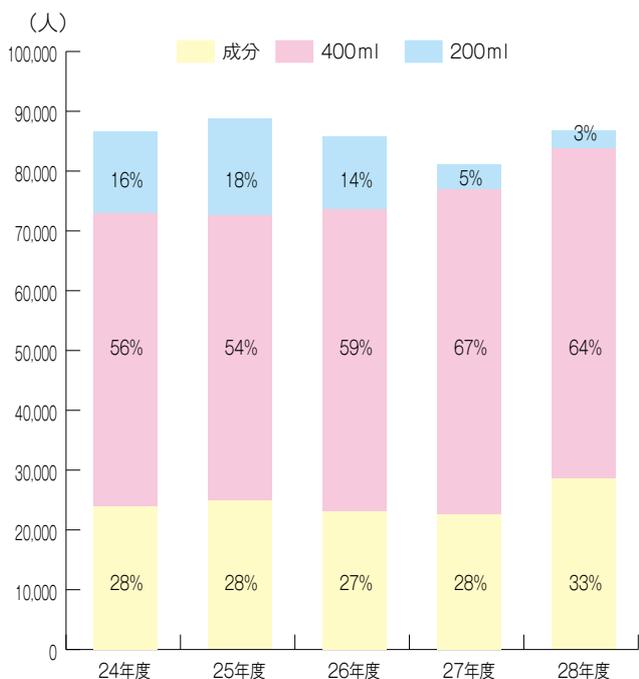
## 過去5年間の月別献血状況



(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年度別月平均
24年度	6,769	7,292	7,499	7,457	7,027	7,873	7,585	7,082	7,078	7,377	6,810	6,631	86,480	7,207
25年度	6,092	7,963	7,776	7,330	7,450	8,205	7,513	7,809	7,661	7,394	6,104	7,375	88,672	7,389
26年度	7,010	7,444	7,060	7,005	7,165	7,494	7,239	7,267	6,951	6,938	6,834	7,232	85,639	7,137
27年度	6,511	6,541	6,704	6,642	6,934	6,668	6,934	6,873	6,892	6,891	6,666	6,713	80,969	6,747
28年度	6,641	7,148	7,161	7,385	7,288	7,288	7,317	7,383	7,634	7,576	6,836	7,005	86,662	7,222
月別平均	6,605	7,278	7,240	7,164	7,173	7,506	7,318	7,283	7,243	7,235	6,650	6,991		

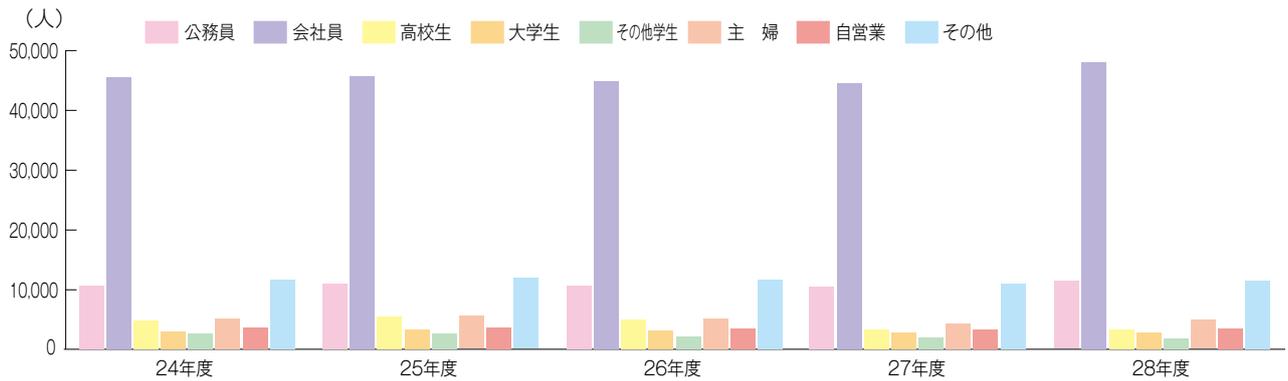
## 過去5年間の採血別献血者状況



(人)

年度 種別	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
成分	23,855	24,794	23,018	22,517	28,487
400ml	49,059	47,726	50,501	54,280	55,312
200ml	13,566	16,152	12,120	4,172	2,863
合計	86,480	88,672	85,639	80,969	86,662

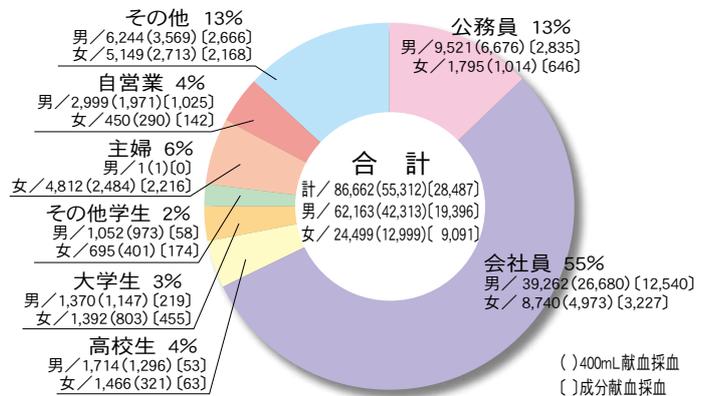
## 過去5年間の職業別献血者状況



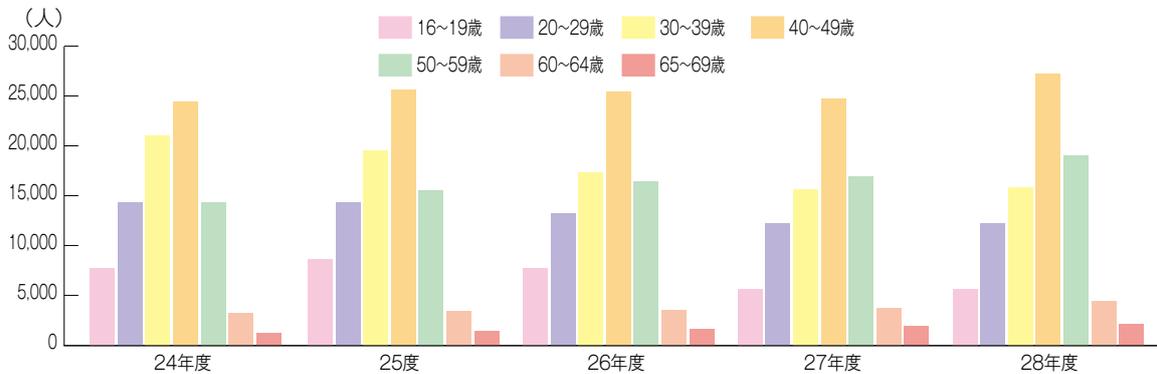
(人)

職業別	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
公務員	10,530	10,852	10,629	10,456	11,316
会社員	45,413	45,625	44,786	44,406	48,002
高校生	4,717	5,393	4,898	3,179	3,180
大学生	2,962	3,305	3,156	2,705	2,762
その他学生	2,531	2,606	2,145	1,865	1,747
主婦	5,070	5,496	5,019	4,236	4,813
自営業	3,626	3,562	3,491	3,256	3,449
その他	11,631	11,833	11,515	10,866	11,393
合計	86,480	88,672	85,639	80,969	86,662

■平成28年度職業別献血者数



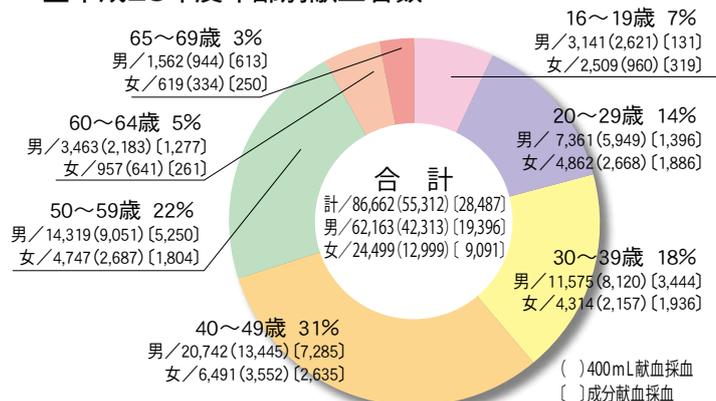
## 過去5年間の年齢別献血者状況



(人)

職業別	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
16~19歳	7,772	8,645	7,800	5,610	5,650
20~29歳	14,355	14,368	13,277	12,255	12,223
30~39歳	21,020	19,565	17,322	15,698	15,889
40~49歳	24,484	25,617	25,464	24,755	27,233
50~59歳	14,340	15,588	16,489	16,949	19,066
60~64歳	3,222	3,436	3,598	3,793	4,420
65~69歳*	1,287	1,453	1,689	1,909	2,181
合計	86,480	88,672	85,639	80,969	86,662

■平成28年度年齢別献血者数



\*平成11年4月1日より60~64歳のあいだに献血経験のある方に限り65~69歳の献血が可能となった。

# 血液型別供給本数(管内)

(単位：本)

全血製剤	販売名	略号	A型	O型	B型	AB型	合計
	人全血液-LR「日赤」		WB-LR-1	0	0	0	0
		WB-LR-2	0	0	0	0	0
照射人全血液-LR「日赤」		Ir-WB-LR-1	0	0	0	0	0
		Ir-WB-LR-2	0	0	0	0	0
	合計		0	0	0	0	0

(単位：本)

赤血球製剤	販売名	略号	A型	O型	B型	AB型	合計
	赤血球液-LR「日赤」		RBC-LR-1	254	246	231	97
		RBC-LR-2	1,363	1,187	603	217	3,370
照射赤血球液-LR「日赤」		Ir-RBC-LR-1	1,350	1,100	819	372	3,641
		Ir-RBC-LR-2	17,456	14,661	10,084	5,096	47,297
洗浄赤血球液-LR「日赤」		WRC-LR-1	1	0	0	0	1
		WRC-LR-2	0	0	1	0	1
照射洗浄赤血球液-LR「日赤」		Ir-WRC-LR-1	1	2	10	5	18
		Ir-WRC-LR-2	6	9	9	9	33
解凍赤血球液-LR「日赤」		FTRC-LR-1	0	0	0	0	0
		FTRC-LR-2	0	0	0	0	0
照射解凍赤血球液-LR「日赤」		Ir-FTRC-LR-1	0	0	0	0	0
		Ir-FTRC-LR-2	0	0	0	0	0
合成血液-LR「日赤」		BET-LR-1	0	0	0	0	0
		BET-LR-2	0	0	0	0	0
照射合成血液-LR「日赤」		Ir-BET-LR-1	0	0	0	0	0
		Ir-BET-LR-2	0	0	0	0	0
	合計		20,431	17,205	11,757	5,796	55,189

\*平成26年8月より、赤血球濃厚液-LR「日赤」RCC-LR、照射赤血球濃厚液-LR「日赤」Ir-RCC-LRは、赤血球液-LR「日赤」RBC-LR、照射赤血球液-LR「日赤」Ir-RBC-LRへ変更。

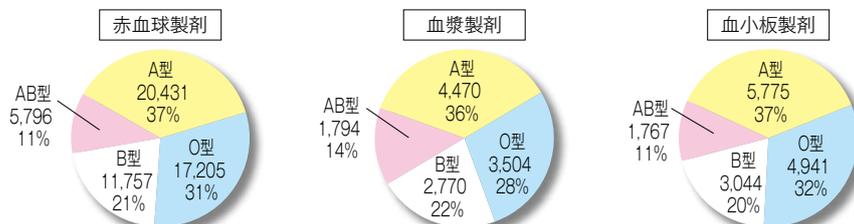
(単位：本)

血漿製剤	販売名	略号	A型	O型	B型	AB型	合計
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」	120	FFP-LR 120	247	137	129	79
240		FFP-LR 240	2,882	2,023	1,770	1,041	7,716
480		FFP-LR 480	1,341	1,344	871	674	4,230
	合計		4,470	3,504	2,770	1,794	12,538

\*平成25年9月より、新鮮凍結血漿-LR「日赤」FFP-LR-1・FFP-LR-2・FFP-LR-Apは、FFP-LR 120・FFP-LR 240・FFP-LR 480へ変更。

(単位：本)

血小板製剤	販売名	略号	A型	O型	B型	AB型	合計
	濃厚血小板-LR「日赤」		PC-LR-1	0	0	0	0
		PC-LR-2	0	0	0	0	0
		PC-LR-5	0	0	0	0	0
		PC-LR-10	146	216	63	39	464
		PC-LR-15	0	0	0	0	0
		PC-LR-20	0	8	0	0	8
照射濃厚血小板-LR「日赤」		Ir-PC-LR-1	0	0	0	0	0
		Ir-PC-LR-2	23	0	0	0	23
		Ir-PC-LR-5	95	61	34	10	200
		Ir-PC-LR-10	5,081	4,477	2,814	1,605	13,977
		Ir-PC-LR-15	62	34	14	7	117
		Ir-PC-LR-20	123	60	33	44	260
濃厚血小板HLA-LR「日赤」		PC-HLA-LR-10	13	0	12	4	29
		PC-HLA-LR-15	0	0	0	0	0
		PC-HLA-LR-20	0	0	0	0	0
照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」		Ir-PC-HLA-LR-10	204	38	71	55	368
		Ir-PC-HLA-LR-15	3	0	3	3	9
		Ir-PC-HLA-LR-20	0	0	0	0	0
照射洗浄血小板-LR「日赤」		Ir-WPC-LR	23	47	0	0	70
照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」		Ir-WPC-HLA-LR	2	0	0	0	2
	合計		5,775	4,941	3,044	1,767	15,527

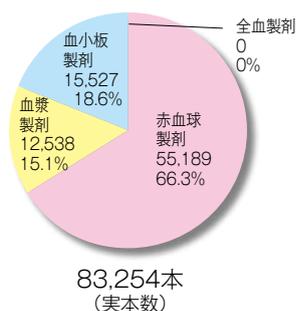


## 血液製剤種類別供給数(管内)

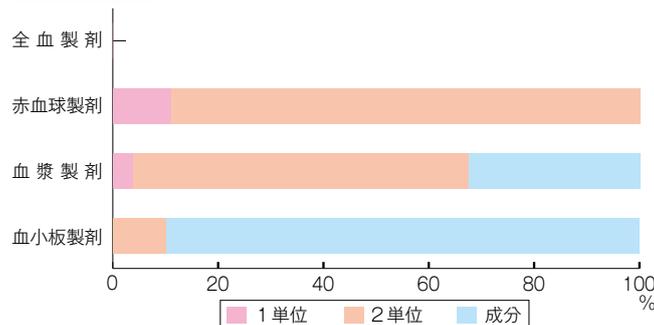
(単位：本)

	1単位製剤	2単位製剤	成分				本数合計	換算本数
			5単位	10単位	15単位	20単位		
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	
赤血球製剤	4,488	50,701	0	0	0	55,189	105,890	
血漿製剤	592	7,716	4,230	0	0	12,538	45,186	
血小板製剤	0	23	200	14,910	126	15,527	157,396	
合計	5,080	58,440	4,430	14,910	126	83,254	308,472	

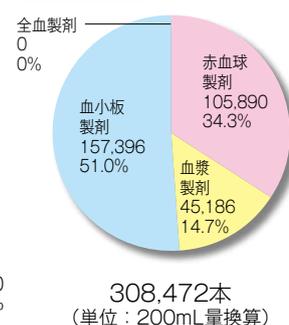
本数合計



献血由来別



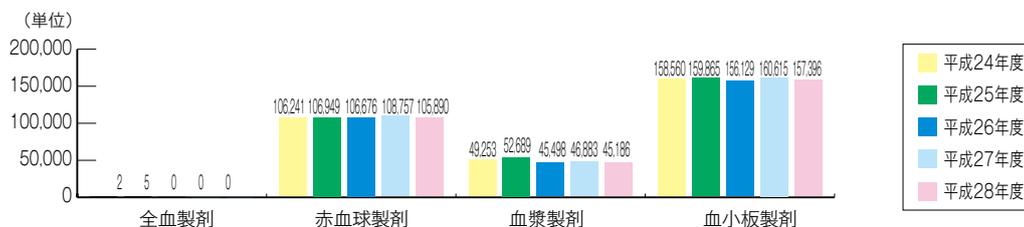
換算本数



## 輸血用血液製剤の推移 (管内)

(単位：200mL量換算)

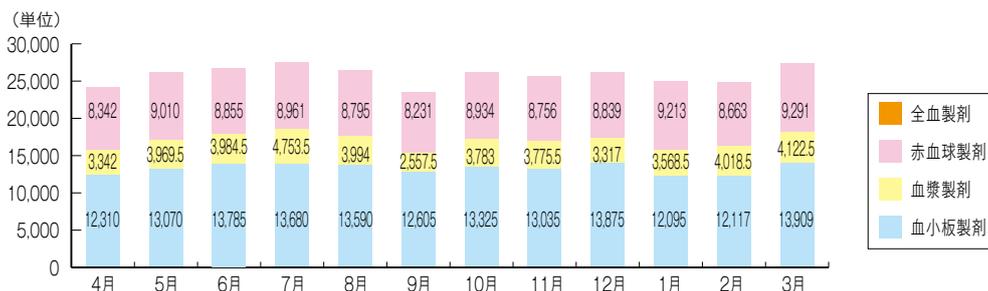
	合計	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤
平成24年	314,056	2	106,241	49,253	158,560
平成25年	319,508	5	106,949	52,689	159,865
平成26年	308,303	0	106,676	45,498	156,129
平成27年	316,255	0	108,757	46,883	160,615
平成28年	308,472	0	105,890	45,186	157,396



## 月別供給本数(管内)

(単位：200mL量換算)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球製剤	105,890	8,342	9,010	8,855	8,961	8,795	8,231	8,934	8,756	8,839	9,213	8,663	9,291
血漿製剤	45,186	3,342	3,969.5	3,984.5	4,753.5	3,994	2,557.5	3,783	3,775.5	3,317	3,568.5	4,018.5	4,122.5
血小板製剤	157,396	12,310	13,070	13,785	13,680	13,590	12,605	13,325	13,035	13,875	12,095	12,117	13,909
合計	308,472	23,994	26,050	26,625	27,395	26,379	23,394	26,042	25,567	26,031	24,877	24,799	27,323



# 平成28年度 表彰 (団体のみ表記)

群馬県と日本赤十字社群馬県支部は、献血協力者への感謝とともに県民各層に対し、一層の献血思想の普及と献血運動の推進を図るため、「献血推進県民大会」を開催し献血のご功労のあった方々を表彰しております。

(敬称略)

## ■厚労大臣 表彰状

沖電気工業株式会社 メカトロシステム工場

## ■厚労大臣 感謝状

前橋ローターアクトクラブ

FDK株式会社

特定医療法人博仁会 第一病院

群馬県立高崎産業技術専門学校

株式会社吉野工業所 群馬工場

株式会社吉野工業所 藤岡工場

群馬県立藤岡北高等学校

沖電線株式会社 群馬工場

陸上自衛隊 吉井分屯地

陸上自衛隊 第12旅団相馬原駐屯地

パナソニック エコソリューションズ朝日株式会社

株式会社LIXILサンウエーブ製作所 桐生工場

医療法人社団全仁会 高木病院

株式会社 両毛システムズ

桐生厚生総合病院

小倉クラッチ株式会社

日本電産サーボ株式会社

ライオンズクラブ国際協会333-D地区第1R第1Z

笠懸ライオンズクラブ

サントリービール株式会社 利根川ビール工場

## ■群馬県献血推進特別功労者 (団体)

株式会社 群馬銀行

JA高崎ハム株式会社

パナソニック エコソリューションズ内装建材株式会社

群馬工場

三吉昭和会

## ■群馬県献血推進協議会長感謝状

国土交通省 関東運輸局群馬運輸支局

株式会社フレッセイ

株式会社関電工 群馬支社

株式会社新進 総社工場

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 群馬県済生会前橋病院

ライオンズクラブ国際協会333-D地区第4R第1Z

前橋中央ライオンズクラブ

医療法人社団山崎会 サンピエール病院

医療法人真木会 真木病院

群馬育英学園 育英短期大学

美峰酒類株式会社

陸上自衛隊 新町駐屯地

## ■献血団体 金色有功章 (20年以上)

医療法人社団善衆会 善衆会病院

群馬テレビ株式会社

群馬県中古自動車販売商工組合

前橋東警察署

朝日印刷工業株式会社

高崎信用金庫

全日本ロータス同友会群馬県支部

社会福祉法人 恵の園

利根保健生活協同組合 利根中央病院

群馬県立伊勢崎商業高等学校

医療法人原会 原病院

医療法人社団 松嶺会 富士ヶ丘病院

■献血団体 銀色有功章  
(15年以上)

前橋市農業協同組合  
医療法人社団敬寿会 前橋城南病院  
宗教法人 真如苑群馬支部  
医療法人社高柳会 赤城病院  
国土交通省 関東地方整備局高崎河川国道事務所  
サンワテック株式会社  
特定医療法人慶友会 慶友整形外科病院

■献血団体 群馬県支部長感謝状金枠  
(10年以上)

株式会社吉田鉄工所  
星野総合商事株式会社  
サントリープロダクツ株式会社 榛名工場  
医療法人北関東循環器病院  
上電通運株式会社  
東亜工業株式会社 新田工場  
医療法人社団 醫光会 おうら病院

■献血団体 群馬県支部長感謝状銀枠  
(5年以上)

長谷川香料株式会社 板倉工場  
株式会社平和 赤堀工場  
上越印刷工業株式会社  
株式会社若草印刷

■献血推進団体 金色有功章  
(20年以上)

ライオンズクラブ国際協会333-D地区第1R第1Z  
藪塚ライオンズクラブ

■献血推進団体 銀色有功章  
(15年以上)

株式会社スーパーセンターフィール  
ユニー株式会社 アピタ笠懸店

■献血推進団体 群馬県支部長感謝状金枠  
(10年以上)

株式会社ヤオコー マーケットシティ桐生  
イオンモール株式会社 イオンモール太田  
イオンモール株式会社 イオンモール高崎

■献血推進団体 群馬県支部長感謝状銀枠  
(5年以上)

カンケンプラザWOW

# 平成28年度迄の献血記録

項 目	年 月 日	献血者数	摘 要	備 考	
開設以来延献血者数	平成29年3月末日	4,353,398人	自昭和37年11月 至平成29年3月		
開設以来母体延献血者数	平成10年8月末日	228,910人	自昭和37年11月 至平成10年8月		
開設以来献血ルーム延献血者数	平成29年3月末日	857,651人	自平成5年10月 至平成29年3月		
開設以来採血車延献血者数	平成29年3月末日	3,156,971人	自昭和37年11月 至平成29年3月		
開設以来出張延献血者数	平成29年3月末日	109,866人	自平成2年4月 至平成29年3月		
年 間 最 高 人 数	昭和60年度	131,336人			
月 間 最 高 人 数	昭和60年7月	13,420人		配車台数114台	
母 体 一 日 最 高 人 数	平成7年1月21日	168人			
献血ルーム一日最高人数	平成10年9月1日	140人	前橋ハートランド オープニング		
出張採血一日最高人数	平成3年1月7日	230人	県 庁		
採血車一日最高人数	昭和60年11月19日	861人		配車台数5台	
採血車一台最高人数	昭和55年6月13日	311人	渋川高等学校		
市民献血一日最高人数	昭和59年2月16日	356人	桐 生 市	配車台数3台	
町民献血一日最高人数	昭和63年9月9日	175人	大 間 々 町		
官庁献血一日最高人数	平成2年1月5日	327人	県 庁	配車台数2台	
事業所献血一日最高人数	昭和60年2月27日	596人	沖電気高崎事業所	配車台数3台	
大学献血一日最高人数	昭和60年6月26日	311人	群馬大学教育学部	配車台数2台	
高校献血一日最高人数	昭和61年1月20日	546人	高崎工業高等学校	配車台数3台	
団体献血一日最高人数	昭和54年8月29日	420人	大間々ライオンズクラブ	配車台数2台	
施設別年間最高献血本数	市 民 献 血	昭和59年度	2,877人	桐 生 市	配車台数延29台
	町 民 献 血	平成4年度	941人	玉 村 町	配車台数延14台
	村 民 献 血	昭和61年度	724人	笠 懸 町	配車台数延5台
	官 庁 献 血	平成元年度	1,339人	県 庁	配車台数延9台
	事 業 所 献 血	昭和61年度	3,589人	三洋電機東京製作所	配車台数延26台
	大 学 献 血	昭和60年度	1,257人	群馬大学教育学部	配車台数延10台
	高 校 献 血	平成元年度	1,197人	樹 徳 高 校	配車台数延6台
	団 体 献 血（主催）	昭和57年度	1,774人	立正佼成会高崎協会	配車台数延16台
	団 体 献 血（協力）	平成11年度	4,202人	群馬県学生献血推進連合	献血実施場所延72箇所

---

あ ゆ み 平成 29 年 7 月

編 集 群馬県赤十字血液センター総務課

発 行 群馬県赤十字血液センター

印 刷 上毎印刷工業株式会社

---

群馬県赤十字血液センター 〒379-2154 前橋市天川大島町2-31-13  
電 話 027-224-2118  
<http://www.gunma-bc.org/>

---

 facebook.

はじめました!

QRコードをスキャンして  
facebookページへアクセス!





日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society